

## 3 年 実力問題 2

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 \_\_\_\_\_ 番 氏名 \_\_\_\_\_

1. 以下の計算をなさい。(3 点 × 4)

$$(1) 15 - 4 \times (-3) \\ = 15 + 12$$

\_\_\_\_\_ 27 \_\_\_\_\_

$$(2) \sqrt{72} \div \sqrt{3} - \sqrt{96} \\ = \sqrt{24} - 4\sqrt{6} \\ = 2\sqrt{6} - 4\sqrt{6}$$

\_\_\_\_\_  $-2\sqrt{6}$  \_\_\_\_\_

$$(3) 3x \times 4y^2 \div (-2xy) \\ = -3x \times 4y^2 \times \frac{1}{2xy}$$

\_\_\_\_\_  $-6y$  \_\_\_\_\_

$$(4) 2(2x - 5y) - 3(4x - 2y) \\ = 4x - 10y - 12x + 6y$$

\_\_\_\_\_  $-8x - 4y$  \_\_\_\_\_

2. 次の問いに答えなさい。(3 点 × 3)

(1)  $a$  を 4 で割ったら、商が  $b$  で余りが 1 であった。 $a$  を  $b$  を用いた式で表しなさい。

$$a \div 4 = b \cdots 1$$

\_\_\_\_\_  $a = 4b + 1$  \_\_\_\_\_

(2) 以下の式を計算しなさい。

$$\begin{array}{l} \sqrt{2010 \times \sqrt{2009 \times 2007 + 1} + 1} \\ \sqrt{2009 \times 2007 + 1} \end{array} \quad \begin{array}{l} \sqrt{2010 \times 2008 + 1} \\ \sqrt{(2008 + 1) \times (2008 - 1) + 1} \\ \sqrt{2008^2 - 1 + 1} \\ \sqrt{2008^2} \\ = 2008 \end{array} \quad \begin{array}{l} \sqrt{(2009 + 1) \times (2009 - 1) + 1} \\ \sqrt{2009^2 - 1 + 1} \\ \sqrt{2009^2} \\ = 2009 \end{array}$$

\_\_\_\_\_ 2009 \_\_\_\_\_

(3) 次の 2 次方程式を解きなさい。

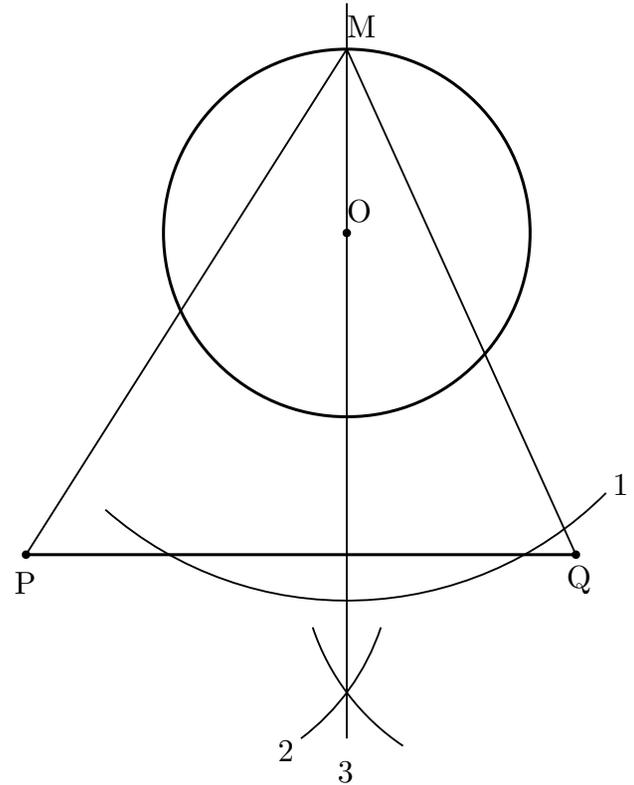
$$(x - 2)(x - 3) = 12$$

$$x^2 - 5x - 6 = 0$$

$$(x - 6)(x + 1) = 0$$

\_\_\_\_\_  $x = 6, x = -1$  \_\_\_\_\_

(4) 下の図のような円  $O$  と線分  $PQ$  がある。円  $O$  の周上において  $\triangle MPQ$  の面積が最大となるような点  $M$  を作図しなさい。ただし、作図に用いた線は消さないこと。(4 点)



3. ある町には A 中学校と B 中学校がある。A 中学校の生徒数は B 中学校の生徒数の 3 倍より 10 人少ない。それぞれの中学校の生徒数に対する 3 年生の生徒の割合は A 中学校は 30%、B 中学校は 35% である。また A 中学校と B 中学校の 3 年生の生徒の合計人数は 147 人である。A 中学校と B 中学校の生徒数はそれぞれ何人になるか次の問いに答えなさい。(5 点)

(1) A 中学校の生徒数を  $x$ 、B 中学校の生徒数を  $y$  として連立方程式をつくりなさい。

$$\begin{cases} x = 3y - 10 \\ \frac{30}{100}x + \frac{35}{100}y = 147 \end{cases}$$

(2) (1) の連立方程式を解いて、それぞれの中学校の生徒数を求めなさい。

$$\begin{cases} x - 3y = -10 \\ 6x + 7y = 2940 \end{cases}$$

$$\begin{cases} 6x - 18y = -60 \\ 6x + 7y = 2940 \end{cases}$$

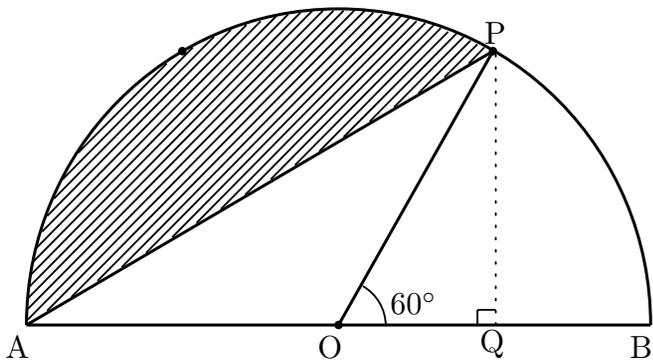
$$-25y = -3000$$

$$y = 120$$

\_\_\_\_\_ A 中学校 350 人, B 中学校 120 人 \_\_\_\_\_

(裏へつづく)

4. 下の図は点 O を中心とし、線分 AB を直径とする半円で、また  $\widehat{AB}$  を 3 等分する点のうち、点 B に近い方を点 P とし、点 P と点 O、点 A を結んだ図である。AB = 12 cm のとき以下の問いに答えなさい。ただし円周率は  $\pi$  とします。



- (1) おうぎ形 OBC の面積を求めなさい。(3 点)

$$\angle COB = 60^\circ \text{ より}$$

$$\pi \times 6^2 \times \frac{60^\circ}{360^\circ}$$

$$\underline{6\pi} \text{ cm}^2$$

- (2) 斜線部分の面積を求めなさい。(4 点)

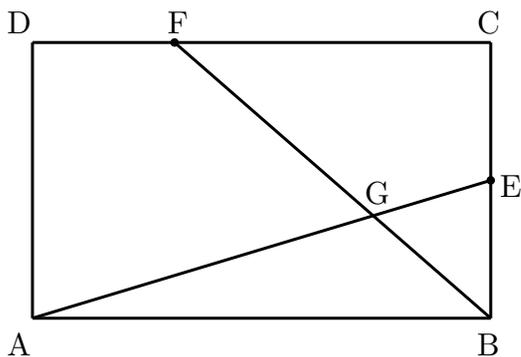
$$\triangle OPD \text{ は } 1:2:\sqrt{3} \text{ の直角三角形より}$$

$$OP = 6 \text{ より } PQ = 3\sqrt{3}$$

$$\pi \times 6^2 \times \frac{120^\circ}{360^\circ} - 6 \times 3\sqrt{3} \times \frac{1}{2}$$

$$\underline{12\pi - 9\sqrt{3}} \text{ cm}^2$$

5. 下の図は AB = 12 cm, BC = 8 cm の長方形である。点 E は線分 BC の中点、点 F は線分 DC を 1:2 に分ける点である。A と E, B と F を結びその交点を G とします。このとき線分 AG の長さを求めなさい。(4 点)



A を原点 O とすると

$$AE \text{ は } y = \frac{1}{3}x$$

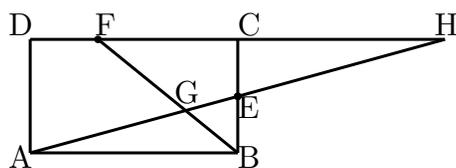
$$BF \text{ は } y = -x + 12$$

よって交点 G の座標は (別解)

$$(9, 3)$$

三平方の定理より

$$AG^2 = 9^2 + 3^2$$



$$\triangle GAB \sim \triangle GHF$$

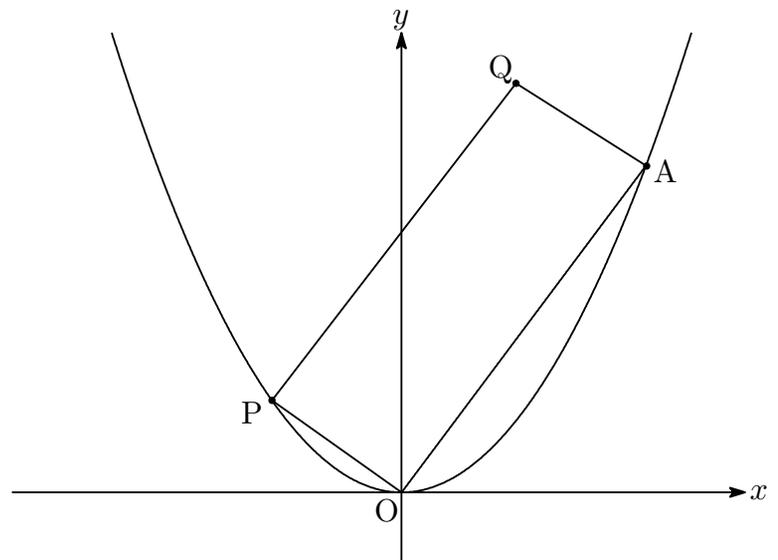
$$\triangle EAB \cong \triangle EHC \text{ より}$$

$$AG : GH = 12 : 20 = 3 : 5$$

$$AG : GE = 3 : 1$$

$$\underline{3\sqrt{10}} \text{ cm}$$

6. 下の図で、放物線は  $y = \frac{1}{4}x^2$  のグラフで、点 O は原点である。点 A は放物線上の点で、その座標は (6, 9) である。点 P は放物線上を動く点であり、その x 座標は負の数である。また四角形 OAQP が線分 OA, OP を 2 辺とする平行四辺形になるように点 Q をとる。このとき以下の問いに答えなさい。(3 点 × 3)



- (1) 関数  $y = \frac{1}{4}x^2$  について、 $x$  の変域が  $-1 \leq x \leq 3$  のときの  $y$  の変域を求めなさい。

$$x = 3 \text{ のとき } y = \frac{1}{4} \times 3^2 = \frac{9}{4}$$

$$0 \leq y \leq \frac{9}{4}$$

- (2) 点 P の座標が (-4, 4) のとき、2 点 A, P を通る直線の式を求めなさい。

$$P(-4, 4), A(6, 9) \text{ より}$$

$$y = \frac{1}{2}x + 6$$

- (3) 点 Q が  $y$  軸上にあるとき、点 P の座標を求めなさい。

$$A(6, 9) \text{ より } P \text{ の } x \text{ 座標は } -6$$

$$y = \frac{1}{4} \times (-6)^2 = 9$$

$$\underline{P(-6, 9)}$$